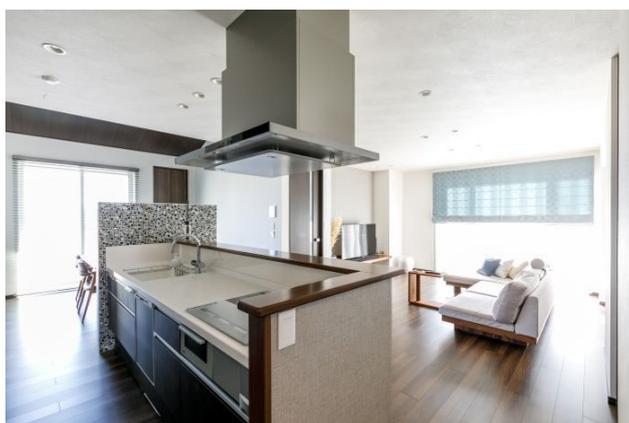


2022年5月25日

パナソニック ホームズの優秀設計者4名を選出
『2019・20年度エキスパートデザイナー』を認定
 ～家づくりの精鋭が、要望・期待を超えるデザイン・機能性を設計提案～

パナソニック ホームズ株式会社は、毎年度、当社の優秀設計担当者を選出する「エキスパートデザイナー認定」において、このたび、2022年5月23日に、『2019・20年度エキスパートデザイナー』4名を認定しました。

「エキスパートデザイナー認定」は、毎年度、新築・リフォーム部門において、一定要件を満たす設計担当者が所属部から推薦を受けて、設計職能の専門的な研修を受講。受講後の認定アセスメントを経て正式認定される社内制度です。同認定は、2012年度から認定を開始し、今回で10年目となります。



2019年度認定 新築部門 エキスパートデザイナー
 赤松 知明 設計事例

同認定の研修は、当社の設計従事者の提案力やモチベーションの向上、優秀事例における特長・工夫の水平展開をはじめ、デザインに優れた設計者が揃う会社としてのスキルアップを目的としています。研修受講後の一次選考を経て、最終の認定アセスメントでは、設計者が、設計計画をはじめ、オーナー様への提案プロセスについてプレゼンテーションを行い、設計技能だけでなく、関係者と良好な関係を構築し、円滑な業務を行うためのヒューマンスキルも含む総合的なスキルを評価する内容になっています。

コロナ禍において在宅時間の増加やテレワークが日常化し、職住融合が進む近年において、住まいの間取りやデザインに求める志向も変化しています。間取りにおいては、玄関手洗いやワークスペース等の設置等、ニューノーマルな暮らしに対応する配慮を具現化することのほか、機能面では、「高断熱・高気密」や「災害への安全性」などに次いで「住宅のデザイン」が重視されています^{※1}。

設計知識の深さと培った技術を認定する精鋭の資格「エキスパートデザイナー」は、家づくりのエキスパートとしての誇りと責任を胸に、お客さまの期待を超えるデザインを生み出しながら、暮らしの夢や理想を具現化していきます。

当社ではこのほか、毎年、当社の建物設計における優秀事例を選出して表彰する社内制度『アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を主宰しており、設計担当者のモチベーション向上と併せて、スキル・ノウハウの水平展開を図ることで、全社規模で設計職能のレベルアップを目指しています。

さらに、設計担当者のスキルアップと併せて、商品においてもデザインクオリティを進化・拡充させています。

2022年4月には、ブラックサッシや大判タイルの採用で重厚な邸宅感を実現し、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)対応も可能な住まい『カサート Black&Stone model』(ブラックアンドストーンモデル)を新発売するなど、ハード・ソフトの両面で、多様化するお客さまのこだわり・ご要望にお応えします。



『カサート Black&Stone model』外観

■ 『2019・20年度エキスパートデザイナー』認定制度 概要

- 名 称 : 『2019・20年度エキスパートデザイナー』認定
※今回はコロナ禍の事情で2年度分の一括認定を実施
- 主 催 : パナソニック ホームズ株式会社 設計部
パナソニック リフォーム株式会社 建築技術部
- 選考日程 : 2019年度 : 一次選考 2018年9月・認定アセスメント 2019年11月
2020年度 : 一次選考 2019年9月・認定アセスメント 2020年11月
- 対 象 者 : 支社、協業会社、パナソニック リフォーム(株)に所属する社員において、
1級建築士の資格を有する設計従事者のうち、設計スキル、経営貢献実績など
一定の要件を満たす者
- 認 定 者 : ① 新築部門
- 2019年度エキスパートデザイナー
パナソニック ホームズ株式会社 赤松 知明
 - 2020年度エキスパートデザイナー
パナソニック ホームズ株式会社 春国 綾
- ② リフォーム部門
- 2019年度エキスパートデザイナー
パナソニック リフォーム株式会社 梅野 正樹
 - 2020年度エキスパートデザイナー
パナソニック リフォーム株式会社 武田 龍明

■ 新築部門『2019・20 年度エキスパートデザイナー』 設計事例

● 2019 年度エキスパートデザイナー 赤松 知明



東西のラインと南北のラインが交差する中心に設けたキッチンが光と抜け感が楽しめる空間

光を感じ抜け感を楽しむ、交差する2軸の家

お子さまも働かれており、ご家族それぞれが部屋にいたることが多いため、個部屋をしっかりと確保したいというのがオーナーさまご家族のご要望。また、奥さまからは、家の中で一番長く時間を過ごすキッチン・ダイニングを充実させたいとのご要望がありました。

さらに、敷地がご実家と職場に近いため、それぞれを何となく意識はしたいということもあり、住まいの中心にキッチンを設置して屋外の景色の取り込みも考慮。暮らしの中心となる空間と、光・風の抜け感を感じてもらえるように計画しています。



奥さまがお好きなモリスのクロスが目を引くリビングは、南側の開口部としても活躍



光や視線が、西側からキッチンを通して東側の田園風景へ抜ける東西のライン



空間に広がりをもたらす勾配天井を設けたダイニング。北側にはクロスが彩るスリット開口部を設置

プランは、東西の眺望軸と南北の意識軸の2つを軸として、建物の中心にキッチン配したのが特徴。敷地特性である田園風景の美しさや抜け感を第1の軸とし、オーナー様のご実家や職場を何となく感じたいという意識を第2の軸として設定しました。

それぞれの軸が十字を切るように交差させるところからゾーニングを組み立て、キッチンを中心に、ご家族全員が集う朝食の時間が特別なひとときになるよう、朝日が入る東側にダイニングを配置しました。

● 2020 年度エキスパートデザイナー 春国 綾



建物上部をオーバーハングさせ、メインアプローチをダイナミックに魅せる演出

上空に住まう ～光と縁に包まれて～

オーナー様のご要望は多彩で、「限られた土地を最大限活かし、高品質の賃貸併用マンションを計画したい」「自宅は、将来2世帯になる可能性も考慮して、エレベーターを共有できるようにしたい」「家族それぞれの趣味(ガーデニング、キャンプ、旅行、サーフィン etc.) を大切にしたい」「ペット犬との生活を快適にしたい」「内装・インテリアにも、こだわりを取り入れたい」でした。これに対し、法規制をクリアした建物の最大ボリュームを確保して、快適なオーナー住戸と高級賃貸の融合を実現する提案を行いました。



自宅前のゲートやガレージ部も
外観形成に貢献



ナチュラル素材を採用した内装と
北欧調インテリア



北側の開放性を活かした天空テラス

プランは、1～3 階に賃貸住居(1LDK)を確保し、1 階はエントランスまでの距離を取ってゆとりと高級感を演出しました。また、南側から自宅専用通路を設けて、従来と同じ動線を確保しています。建物をオーバーハングさせて上階部にボリュームを確保し、4 階にテラス付きのオーナー住戸があるシルエットを創出しています。

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/designer/>

※1: 国土交通省「令和2年度 住宅市場動向調査 報告書」(2021 年 3 月)